

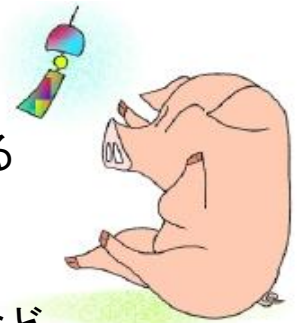
# (豚) 暑熱対策を行いましょーう!

今年も厳しい猛暑となりそうです。下記のポイントを参考に対策を行い、大切な家畜を暑熱ストレスから守って生産性を維持しましょう!

## <暑熱対策のポイント>

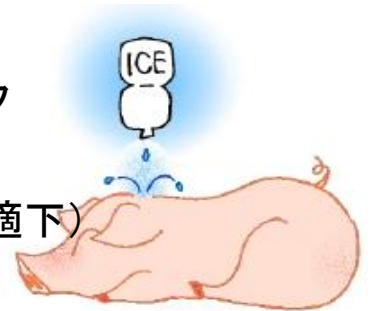
### 1 室温の管理

- 開放豚舎では、風通しをよくして外気温に近づける
- ウインドレス豚舎では、換気量を増大させる
- 畜舎外から畜舎温度を下げる  
→ 屋根に白色系塗料の塗布、屋根への放水など



### 2 種豚の管理

- 体感温度を低下させるために送風を行う
- 早朝や日没後の涼しい時間帯に飼料給与を行う
- 涼しい時間帯での移動や交配を行う
- 高エネルギーの飼料の給与
- 常時新鮮な水が飲めるように、給水器をチェック
- 雄豚は精液性状の確認
- 頸部滴下装置の利用(水滴を豚体首筋付近に適下)



### 3 肉豚の管理

- 飼育密度の低下(体感温度とストレスの軽減)
- 常時新鮮な水が飲めるように、給水器をチェック

### 4 出荷の管理

- 涼しい時間帯での出荷に心がける
- 輸送時に積み込みすぎないようにする

## 暑熱対策具体的事例の紹介

農林水産省パンフレットより

### 牛舎屋根への石灰塗布

#### 【取組の概要】

肉用牛200頭:宮崎県



【塗布面積】 800㎡ (屋根材:ガルバリウム)

【作業人数】 5人

【材料】 石灰(牛舎消毒用)、水、動力噴霧器、電動ドリル、かき混ぜ棒、ポリバケツ(大)

【塗布方法】 石灰を水に溶かして石灰乳を作り、動力噴霧器にて屋根へ散布する

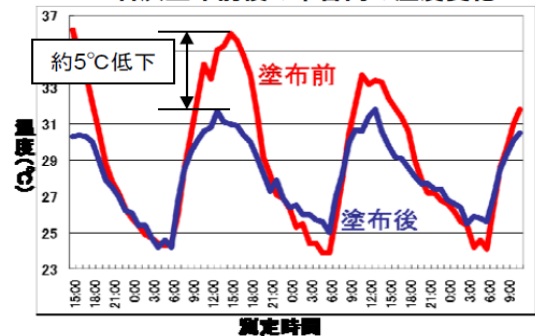
【作業時間】 3時間(実質塗布時間:2時間)

【塗布面積あたりコスト】 33円/㎡

【注意点】 ①石灰乳がダマにならないよう常にかき混ぜる(電動ドリルで攪拌)

②長持ちさせるため、ムラなく丁寧に塗布する

石灰塗布前後の牛舎内の温度変化



#### 【効果】

○屋根裏温度の変化 約15°C低下

○牛舎内温度の変化 約 5°C低下

- ・夏場の採食量が増えた結果、枝肉重量が増加し、出荷成績の改善につながった
- ・夏場の飼養管理がしやすくなった

### アカザを利用した鶏舎庇蔭 (ひいん)

#### 【取組の概要】

採卵鶏4500頭:群馬県

○自作地の畑などに自生している雑草であるアカザを梅雨時に抜いてきて、全ての鶏舎(8棟)の東側と南側に移植

○アカザは成長が早く、夏季には鶏舎屋根まで覆い、鶏舎内に日影ができた。夏を過ぎると枯れるため、後処理も容易

○自生するアカザを用いるため、低コストで容易

#### ※注意点

鶏舎内の風通しの確保のため、アカザの下部の茎から出る枝や葉を切るなどの手入れが必要。



【効果】 ○夏季の死亡羽数が激減 実施前(H19年)約700羽

→実施後(H20年)約40羽